作成日　2026年8月28日

安全データシート（SDS）

1．化学品及び会社情報

製品名	： **NOXAR 灰色**
販売店舗名	： SK本舗
住所	： 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー18階
電話番号	： 03-5809-2996
製造会社	： Shenzhen Yongchanghe Technology CO., LTD.
住所	： 1001, Huaide international building, No. 73, Fuyongsection, Guangshen Road, Fuyong community,Fuyong street, Bao'an District, Shenzhen, China
推奨用途及び使用上の制限	： 3Dプリンター用（生体適合性はありません）

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	： 分類できない又は区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	： 分類できない
急性毒性（経皮）	： 分類できない
急性毒性（吸入：気体）	： 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	： 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	： 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	： 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 区分1
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 区分1
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 分類できない
生殖毒性	： 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 分類できない
誤えん有害性	： 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	： 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	： 分類できない
オゾン層への有害性	： 分類できない

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）：



注意喚起語	： 危険
危険有害性情報	： 皮膚刺激 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策	： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 取扱後はよく手と顔を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	： 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。 皮膚刺激又は発しんが生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管	： 容器を密閉しておくこと。
廃棄	： 関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、適正に廃棄すること。
その他の危険有害性	： 情報なし

３．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物
化学名又は一般名　：　-
分類に寄与する不純物及び安定化添加物　：　データなし

組成物質名		CAS登録番号	化管法指定化学物質の種別	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲(wt%)
ポリオキシアルキレンアクリレート等		非開示	-	-	-	98
酸化チタン		13463-67-7	-	既存	既存	1.5
カーボンブラック		1333-86-4	-	既存	既存	0.5

４．応急措置

吸入した場合　：　新鮮な空気を吸うこと。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合　：　すべての汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合　：　多量の水ですすぐこと。コンタクトレンズをはずすこと。ただちに医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合　：　口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状　：　「11. 有害性情報」を参照。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項　：　データなし
医師に対する特別な注意事項　：　データなし

５．火災時の措置

適切な消火剤　：　粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素等
使ってはならない消火剤　：　情報なし
火災時の特有の危険有害性　：　加熱により容器が爆発するおそれがある。燃焼ガスは炭素酸化物を含む。
特有の消火方法　：　製品が河川等に流出しないように適切な措置を講じる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置　：　消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　：　多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項　：　周辺環境に影響があるため、製品の環境中への流出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材　：　危険でなければ漏れを止める。ウエス、砂などの吸収剤を用いて回収する。
大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。
二次災害の防止策　：　「13. 廃棄上の注意」を参照。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
- 技術的対策　：　「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用する。
- 安全取扱い注意事項　：　作業場の換気を十分行う。眼、皮膚及び衣類への接触を避ける。
- 接触回避　：　「10. 安全性及び反応性」を参照。
- 衛生対策　：　取り扱い後はよく手を洗うこと。製品を使用する際に飲食、喫煙をしないこと。

保管
- 安全な保管条件　：　容器を密閉しておくこと。日光から遮断し、換気の良い冷所で保管すること。
- 安全な容器包装材料　：　消防法及び国際輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
- 管理濃度　：　未設定
- 日本産業衛生学会(2022)　：　酸化チタン　吸入性 1.5mg/m^3　総粉塵 2mg/m^3（暫定）
  カーボンブラック　吸入性 1mg/m^3　総粉塵 4mg/m^3（第2種粉塵）
- ACGIH(2019)　：　酸化チタン　TWA 10mg/m^3
  カーボンブラック　TWA 3mg/m^3

設備対策　：　取扱作業場の近くに洗眼器、安全シャワーを設置すること。
保護具
- 呼吸用保護具　：　必要に応じて防塵マスク又は送気マスク
- 手の保護具　：　不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
- 眼、顔面の保護具　：　安全ゴーグル又はサイドシールド付き安全眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具　：　不浸透性保護衣

特別な注意事項　：　データなし

９．物理的及び化学的性質

物理状態	：	液体
色	：	灰色
臭い	：	わずかな臭い
融点／凝固点	：	-60℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	：	140℃
可燃性	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：	データなし
引火点	：	>250℃（closed cup）
自然発火点	：	>450℃
分解温度	：	>250℃
pH	：	6.8~7.2
動粘性率	：	データなし
溶解度	：	水に可溶、ベンゼン、アルコール、エーテル等の有機溶剤に可溶
n-オクタノール／水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度	：	1.05～1.25g/cm^3（25℃）
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし
その他のデータ	：	粘度 200~450mPa･s（25℃）

１０．安定性及び反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。
危険有害反応可能性	：	データなし
避けるべき条件	：	高温、直射日光、湿気
混触危険物質	：	強酸化剤、酸、アルカリ、強還元剤
危険有害な分解生成物	：	一酸化炭素等

１１．有害性情報

急性毒性（経口）	：	データなし
急性毒性（経皮）	：	データなし
急性毒性（吸入：気体）	：	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	：	データなし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：	データなし
皮膚腐食性／刺激性	：	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	データなし
呼吸器感作性	：	データなし
皮膚感作性	：	データなし
生殖細胞変異原性	：	データなし
発がん性	：	本品に含まれる酸化チタン及びカーボンブラックについては粉じんの吸入による発がん性リスクが知られているが、本品の性質上、粉じんとして吸入する可能性は低いと考えられる。
生殖毒性	：	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：	本品に含まれる酸化チタン及びカーボンブラックについては粉じんの吸入による呼吸器への影響が知られているが、本品の性質上、粉じんとして吸入する可能性は低いと考えられる。
誤えん有害性	：	データなし

１２．環境影響情報

生態毒性	：	データなし
残留性･分解性	：	データなし
生体蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	データなし
オゾン層への有害性	：	データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	：	関連法規制や各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理する。
汚染容器及び包装	：	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制や地方自治体の基準に従い適切に処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号・国連分類	：	非該当
容器等級	：	-
品名	：	-
緊急時応急措置指針番号	：	-
海洋汚染物質	：	非該当

国内規制

海上規制情報	：	船舶安全法、港則法の規定に従う。
航空規制情報	：	航空法の規定に従う。
陸上規制情報	：	消防法の規定に従う。

１５．適用法令

労働安全衛生法	：	名称等を表示すべき危険物及び有害物：酸化チタン（ＩＶ）、カーボンブラック 名称等を通知すべき危険物及び有害物：酸化チタン（ＩＶ）、カーボンブラック （2024年4月1日施行　施行令別表第9に追加する234物質：該当しない）
化学物質排出把握管理促進法	：	（2023年3月31日まで）該当しない （2023年4月1日以降）該当しない
毒物及び劇物取締法	：	該当しない
化審法	：	特定化学物質、監視化学物質に該当しない
消防法	：	危険物に該当しない
船舶安全法	：	該当しない
港則法	：	該当しない
航空法	：	該当しない

１６．その他の情報

・本SDSはJIS Z7253:2019に準拠しております。
・本SDSは作成時点で当社が有する最新の知見に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。今後新たな情報を入手した際には、記載事項の追加及び訂正を行うことがあります。また、記載内容は製品に関する安全情報の提供を目的としており、その内容を保証するものではありません。使用する際には用途や実際の使用状況を考慮したうえで、安全な取り扱い並びに関連法規制の遵守をお願いします。
・データ引用元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版 GHS分類結果、その他国内外のデータベース